

夏のこどもの感染症に **ご注意....**

これから待望の**夏休み**——しかし、夏は夜更かしや、高温、多湿度などから食欲不振が続いて、なにかと体調を崩しがちです。そんな子供たちをねらっているウイルス性の感染症があります。その代表的な感染症について幾つかご紹介いたします。



手足口病 **空気感染、経口感染**

(症状) 手のひら、足の裏、ひざ、おしり、口腔内に特有の水疱様の発疹ができ、かゆみを伴います。発疹は2~3日で褐色の斑点となり、その後消えてしまいます。口腔内の水疱はやぶれると水がしみて痛みを伴います。このため口からものが食べられなくなり、脱水症になることもあります。最もかかりやすい年齢は1~5歳ですが、成人も感染します。

(潜伏期間) 3~4日 **(原因ウイルス)** コクサッキーウイルス、エンテロウイルス

(感染経路) 咽頭からの飛まつ感染か、患者便中に排泄(約1ヶ月排泄)されたウイルスの経口感染が考えられます。

ヘルパンギーナ **空気感染**

(症状) 手足口病と似ていますが、突然の発熱に続く咽頭の発赤、口腔内の小水疱が特徴的です。やがて水疱は破れて潰瘍となります。発熱は2~4日程度で解熱し、その後発疹も消失します。

(潜伏期間) 2~4日 **(原因ウイルス)** コクサッキーウイルス

(感染経路) 手足口病と同じ。

伝染性紅斑 (りんご病) **空気感染**

(症状) 咳、鼻汁、軽い発熱後、左右の頬がりんごの様に赤くなる発疹がでます。りんごほっぺ病とも言われています。発疹が出る7~10日前に軽いかぜ症状が出ますが、実は発疹が出る前が一番体内にウイルスが多く、感染力が強いときです。紅斑時期になるとウイルスの力をうしない、人にうつさないと言われています。ワクチンはありません。

(潜伏期間) 約1週間 **(原因ウイルス)** パルボウイルス

プール熱 (咽頭結膜熱) **飛まつ感染、空気感染**

(症状) 夏かぜ疾患のひとつで、プールを介して流行することが多いのでプール熱とも呼ばれています。38~40℃の高熱が4~7日程度続きます。喉が赤く腫れ4~5日間痛みます。咳が出て、扁桃腺炎を伴うことも多くなります。目が赤く充血し、痛み、目やにが出て目を開けているのがつらくなります。このほかに頭痛、食欲不振、吐き気、下痢、鼻水などの一般的なかぜの症状がでることもあります。

(潜伏期間) 約1週間 **(原因ウイルス)** アデノウイルス

(予防) タオルの貸し借りはやめましょう。

(保健環境研究センター 記)